

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

第2917279号

(45) 発行日 平成11年(1999) 7月12日

(24) 登録日 平成11年(1999) 4月23日

(51) Int. Cl.<sup>6</sup>

識別記号

P I

H 0 1 J 11/00  
11/02

H 0 1 J 11/00  
11/02

K  
B

請求項の数4 (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願昭63-304509

(22) 出願日

昭和63年(1988)11月30日

(65) 公開番号

特開平2-148645

(43) 公開日

平成2年(1990) 6月7日

審査請求日

平成7年(1995)10月20日

(73) 特許権者 999999999

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1  
番1号

(72) 発明者

齋藤 利之

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内

(72) 発明者

篠田 博

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内

(74) 代理人

弁理士 井宿 貞一

審査官

小島 寛史

(56) 参考文献

特開 昭60-246544 (J P, A)

特開 昭62-31775 (J P, A)

特開 昭48-73066 (J P, A)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ガス放電パネル

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ガス放電空間を挟んで対向する少なくとも  
片方が透明な一方の絶縁基板を有し、

視覚側に配置する前記透明な一方の絶縁基板には、それ  
ぞれ隣接して対をなす複数の透明導電膜よりなる放電維  
持電極を複数組並べて配設すると共に、隣接した各放電  
維持電極対の相互に隣接する片側の放電維持電極間を電  
極引き出し用の金属材料層により接続し、その上に透明  
な絶縁膜を介して該放電維持電極と交差する方向に複数

2

視覚側に配置する前記透明な一方の絶縁基板にはそれぞ  
れ隣接して対をなす複数の透明導電膜よりなる放電維持  
電極を複数組並べて配設し、かつ背面側に配置する前記  
他方の絶縁基板には前記放電維持電極と交差する方向に  
複数本の貫通電極を配設し、

さらに前記隣接した各放電維持電極対の相互に隣接する  
片側の放電維持電極間を電極引き出し用の金属材料層に  
より接続し、かつ前記他方の絶縁基板上に前記放電維持  
電極対間の放電により発光する蛍光体膜を配設したこと